

# 第1回 医療安全文化調査

自治医科大学附属さいたま医療センター

医療安全管理室

2022年3月

## 医療安全文化調査について

医療安全文化とは、「**医療に従事する全ての職員が、患者さんの安全を最優先に考え、その実現を目指す態度や考え方およびそれを可能にする組織のあり方**」と定義されています。

また、医療機関が良好な医療安全文化を醸成すると、**医療チームの能力が高まり、コミュニケーションエラーが減り、医療の質が高まること等**が報告されています。

医療安全文化調査を用いて、医療安全文化を定量的に測定し、院内の現状を把握するとともに医療安全文化の醸成に活用します。

# 調査方法

調査期間	2021年11月1日～2021年12月26日
調査対象	全職員
調査方法	日本医療機能評価機構 医療安全文化調査支援システムへの入力

システム内の計算により「肯定的回答割合%」を算出し、割合が高いほど、医療安全文化が良好な状態といえる。

# 「肯定的回答割合」

肯定的回答割合とは「肯定」「やや肯定」の回答割合を指します。ただし、否定的設問の場合は、「全く思わない」「思わない」などの否定的な回答が「肯定」「やや肯定」に割り振られます。

対照表

設問区分	設問 ID (設問順)	肯定	やや肯定	中立	やや否定	否定
P： 肯定的設問	A01/A02/A03	5	4	3	2	1
	A04/A06/A09	全くそう	そう思う/ ほとんど	どちらで もない/ ときどき	思わない/ まれであ る	全く思わ ない/ 全くない
	A11/A13/A15	思う/いつ も	ほとんど いつも			
	A18/B01/B02					
	C01/C02/C03					
	C04/C05/D01					
	D02/D03/F01 F04/F08/F10					
N： 否定的設問	A05/A07/A08	1	2	3	4	5
	A10/A12/A14	全く思わ ない/ 全くない/ 非常に良 い	思わない/ まれであ る/ 良い	どちらで もない/ ときどき/ 許容範囲 内である	そう思う/ ほとんど いつも/ 不十分で ある	全くそう 思う/ いつも/ 非常に問 題がある
	A16/A17/B03					
	B04/C06/E01					
	F02/F03/F05					
	F06/F07/F09					
	F11					

$$\text{肯定的回答割合 (\%)} = \frac{(\text{「肯定」の回答数}) + (\text{「やや肯定」の回答数})}{(\text{全回答数}) - (\text{「該当しない」の回答数})} \times 100$$

# 設問一覧【設問順】

色付きセルが「肯定」「やや肯定」の回答となります。

領域ID	設問ID	調査区分	設問文	設問区分	A01	A02	A03	A04	A05	A06
S01	B01	B. 上司	私の上司は、定められた医療安全の業務手順に従って仕事をしていれば、褒めてくれる。	P	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く 思う	該当 しない
S01	B02	B. 上司	私の上司は、医療安全の向上に関する部下の意見を、十分に検討している。	P	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く 思う	該当 しない
S01	B03	B. 上司	私の上司は、時間がなくなると、手抜きをしてでも素早く業務を終わらせるように要求してくる。	N	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く 思う	該当 しない
S01	B04	B. 上司	医療安全上の問題が何度も発生しているが、私の上司は見て見ぬふりをしている。	N	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く 思う	該当 しない
S02	A06	A. 職場・部署	私の部署では、積極的に、医療安全を促進するための取り組みをしている。	P	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く 思う	該当 しない
S02	A09	A. 職場・部署	私の部署では、ミスが改善につながっている。	P	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く 思う	該当 しない
S02	A13	A. 職場・部署	私の部署では、医療安全の改善策が導入されたあと、その効果を検証している。	P	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く 思う	該当 しない
S03	A01	A. 職場・部署	私の部署では、職員はお互いに助けあって仕事をしている。	P	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く 思う	該当 しない
S03	A03	A. 職場・部署	私の部署では、たくさんの仕事を素早く実施しなければならないとき、お互いに協力し合い、チームとしてその仕事に取り組んでいる。	P	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く 思う	該当 しない
S03	A04	A. 職場・部署	私の部署では、職員はお互いに敬意をもって接している。	P	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く 思う	該当 しない
S03	A11	A. 職場・部署	私の部署では、一部の職員が非常に忙しくなったら、他の職員が手助けしている。	P	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く 思う	該当 しない

S04	C02	C. コミュニケーション	職員は、患者に悪影響を及ぼす可能性のあるケアを目にしたら、遠慮なく指摘することができる。	P	全くない	まれである	ときどき	ほとんどいつも	いつも	該当しない
S04	C04	C. コミュニケーション	私の部署では、上司や先輩の意思決定や行動に対して、自由に質問することができる。	P	全くない	まれである	ときどき	ほとんどいつも	いつも	該当しない
S04	C06	C. コミュニケーション	私の部署では、何かおかしいと感じても、職員はそれを指摘したがない。	N	全くない	まれである	ときどき	ほとんどいつも	いつも	該当しない
S05	C01	C. コミュニケーション	私達は、出来事報告書に基づいて導入された改善策について、フィードバックを受けている。	P	全くない	まれである	ときどき	ほとんどいつも	いつも	該当しない
S05	C03	C. コミュニケーション	私達は、この部署で発生したエラーについて情報共有している。	P	全くない	まれである	ときどき	ほとんどいつも	いつも	該当しない
S05	C05	C. コミュニケーション	私の部署では、エラーの再発を予防する方法について話し合われている。	P	全くない	まれである	ときどき	ほとんどいつも	いつも	該当しない
S06	A08	A. 職場・部署	職員は、失敗すると非難されると感じている。	N	全く思わない	思わない	どちらでもない	そう思う	全く思わない	該当しない
S06	A12	A. 職場・部署	ある出来事が報告されると、問題点を追及するのではなく、個人の責任が追求されているように感じる。	N	全く思わない	思わない	どちらでもない	そう思う	全く思わない	該当しない
S06	A16	A. 職場・部署	私の部署の職員は、自分のミスが記録され、人事の評価につながることを心配している。	N	全く思わない	思わない	どちらでもない	そう思う	全く思わない	該当しない



S07	A02	A. 職場・部署	私の部署では、仕事を行うのに十分な数の職員が確保されている。	P	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く そう 思う	該当 しない
S07	A05	A. 職場・部署	私の部署の職員は、労働時間が必要以上に長い。	N	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く そう 思う	該当 しない
S07	A07	A. 職場・部署	私の部署では、常勤職員よりも、派遣職員や委託職員を必要以上に雇用している。	N	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く そう 思う	該当 しない
S07	A14	A. 職場・部署	私の部署では、たくさんの業務を素早くこなそうとして、非常に危険な状態で働いている。	N	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く そう 思う	該当 しない
S08	F01	F. 病院	私の病院は、医療安全を推進するような職場環境を用意している。	P	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く そう 思う	該当 しない
S08	F08	F. 病院	管理職はみずからの行動で、医療安全が最も重要であることを示している。	P	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く そう 思う	該当 しない
S08	F09	F. 病院	病院の管理職は、有害事象が発生した直後だけ医療安全に関心を持つようである。	N	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く そう 思う	該当 しない
S09	F02	F. 病院	私の病院では、部署同士がうまく連携していない。	N	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く そう 思う	該当 しない
S09	F04	F. 病院	私の病院では、協力しあう必要がある部署同士は、うまく連携している。	P	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く そう 思う	該当 しない
S09	F06	F. 病院	私の病院では、他の部署の職員と共に働くのが嫌な場合がある。	N	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く そう 思う	該当 しない
S09	F10	F. 病院	病院の各部署は、患者に最良の医療を提供するために、十分協力し合っている。	P	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く そう 思う	該当 しない

S10	F05	F. 病院	私の病院では、勤務交代時に、しばしば治療上重要な情報の伝達が漏れることがある。	N	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く 思う	該当 しない
S10	F07	F. 病院	私の病院では、部署間で情報をやりとりする際、しばしば問題が発生している。	N	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く 思う	該当 しない
S10	F11	F. 病院	私の病院では、勤務交替の際に問題が起こりやすい。	N	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く 思う	該当 しない
S11	A10	A. 職場・部署	私の部署で重大なミスが起こらないのは、単なる偶然でしかない。	N	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く 思う	該当 しない
S11	A15	A. 職場・部署	私の部署では、労働の生産性を上げるために医療安全が犠牲にされることはない。	P	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く 思う	該当 しない
S11	A17	A. 職場・部署	私の部署では、医療安全に問題がある。	N	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く 思う	該当 しない
S11	A18	A. 職場・部署	私の部署の業務手順や業務システムは、ミスを予防するように配慮されている。	P	全く 思わない	思わない	どちら でもない	そう 思う	全く 思う	該当 しない
S12	D01	D. 出来事報告の頻度	ミスが発生したが、患者へ及ぶことを未然に防いだ場合	P	全く ない	まれ である	とき どき	ほと んど いつも	いつ も	該当 しない
S12	D02	D. 出来事報告の頻度	ミスが発生し、患者に達したが、患者に悪影響を及ぼす可能性がない場合	P	全く ない	まれ である	とき どき	ほと んど いつも	いつ も	該当 しない
S12	D03	D. 出来事報告の頻度	ミスが発生し、患者に達したが、患者に悪影響を及ぼす可能性があったものの、運良く被害がなかった場合	P	全く ない	まれ である	とき どき	ほと んど いつも	いつ も	該当 しない
S13	E01	E. 医療安全の達成状況	あなたの職場や部署の医療安全の度合いを評価してください。	N	非常 に良 い	良 い	許容 範囲 内 で あ る	十 分 あ る	非 常 に 題 が あ る	
S14	G01	G. 出来事報告の数	過去12ヶ月間に、あなたは何件の出来事報告書（インシデントレポート等）を作成し、提出しましたか？	D	0件	1～2 件	3～5 件	6～ 10 件	11～ 20 件	21件 以上



# 結果

# 回答数

領域名	医師	看護師	コメディカル 薬剤部・中央放射線部・栄養部 リハビリテーション部・臨床工学部	事務員	その他
回答数	186	701	159	65	12

## 図1 回答総数1123件

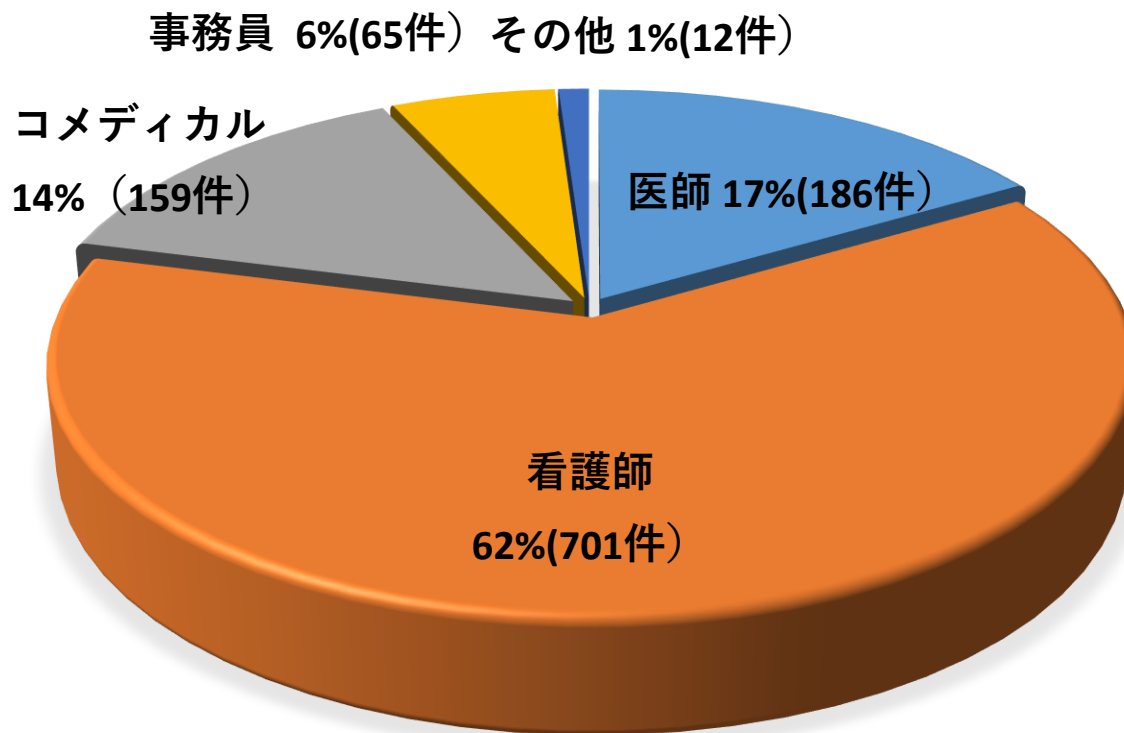


図2 参加全60病院の中央値と当センターとの比較

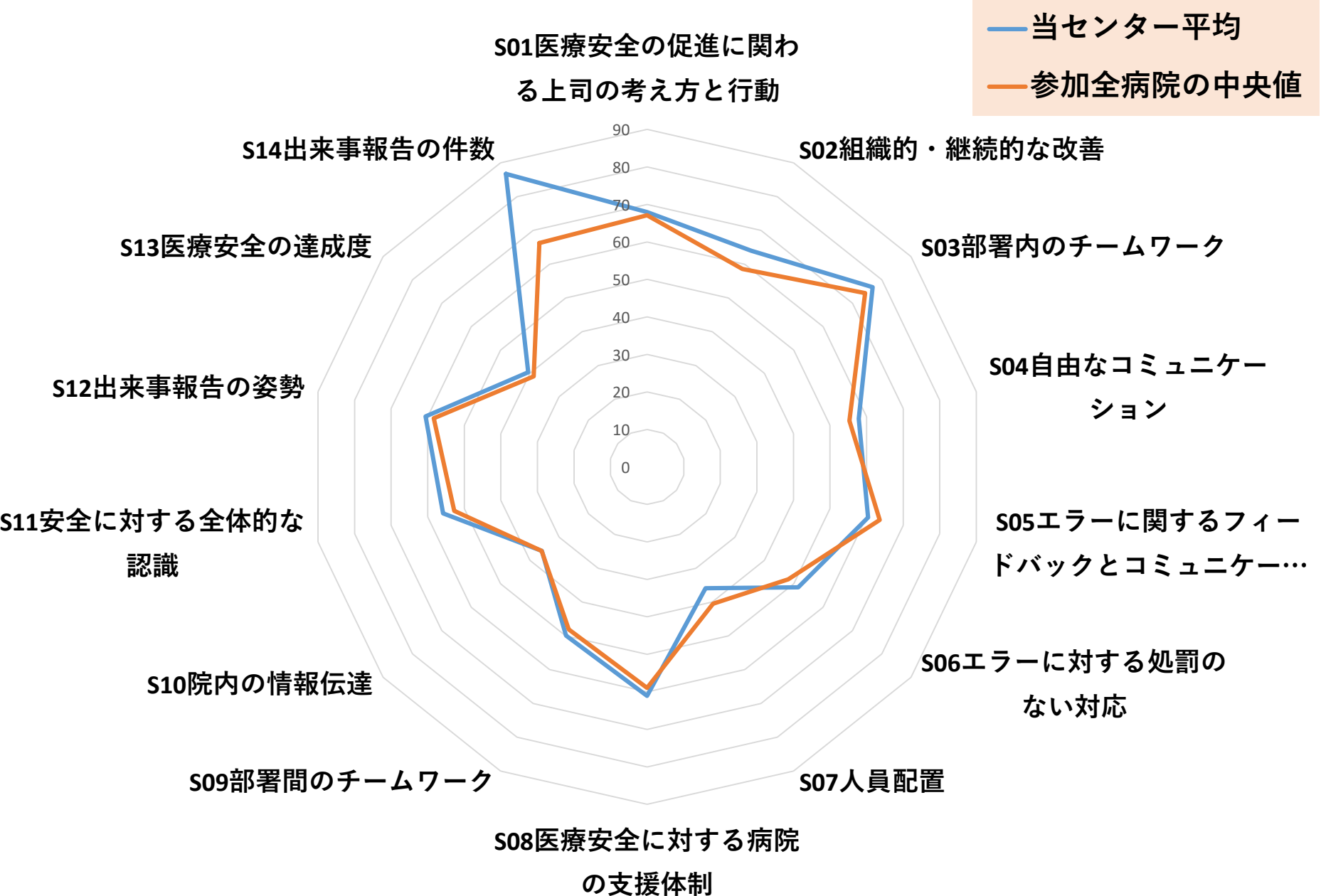
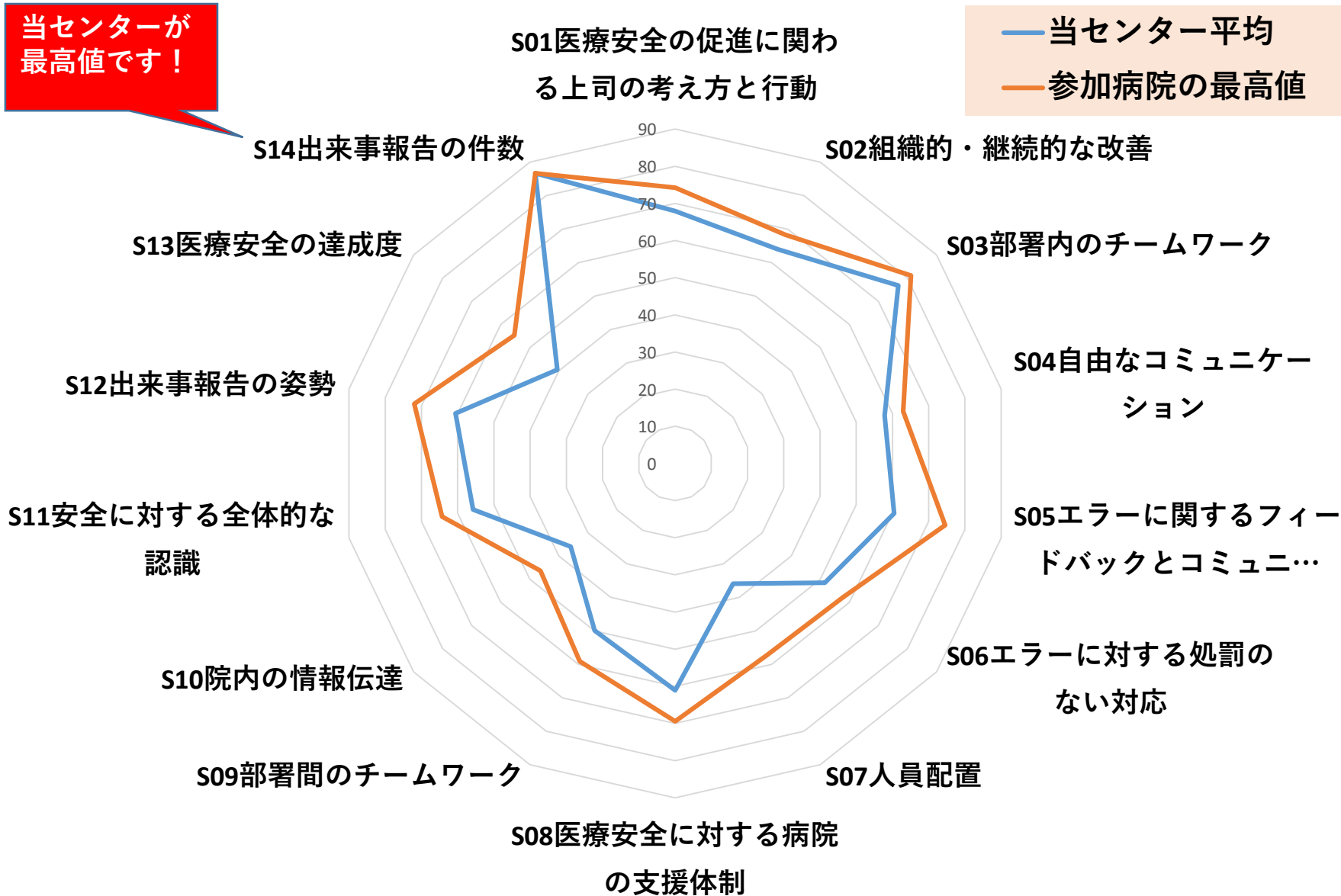


図3 参加全60病院の最高値と当センターとの比較

当センターが  
最高値です！



## 棒グラフの見かた

安全文化調査に参加している病院の集計結果を、ベンチマークとして表示します。得点の低い順に病院を並び替えて4等分したときの、3つの切れ目をそれぞれ「75 パーセンタイル値」「中央値」「25 パーセンタイル値」と呼びます。

	<p><b>「75 パーセンタイル値」</b> 並び替えたとき、上位25%の病院の得点。システムの「ベンチマーク」では<b>青線</b>で示されます。</p>
	<p><b>「中央値」または「50 パーセンタイル値」</b> 並び替えたとき、順位が真ん中の病院の得点。システムの「ベンチマーク」では<b>黄色線</b>で示されます。</p>
	<p><b>「25 パーセンタイル値」</b> 並び替えたとき、下位25%の病院の得点。システムの「ベンチマーク」では<b>赤線</b>で示されます。</p>

## 棒グラフの見かた

当センターの得点（棒グラフ）と併せてベンチマーク結果が、以下の図のように表示されます。

右の出来事報告の件数は、当センターの得点が**75**パーセンタイル値を上回っており、他病院と比較してスバ抜けた強みと言えます。当センターの誇りです。

左の医療安全の達成度の得点は、順位が真ん中の得点の病院（中央値）とほぼ重なっており、一定の水準に達していると言えます。

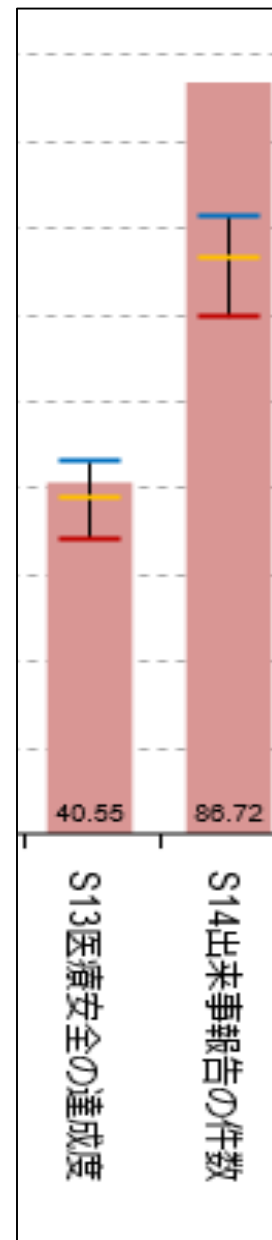
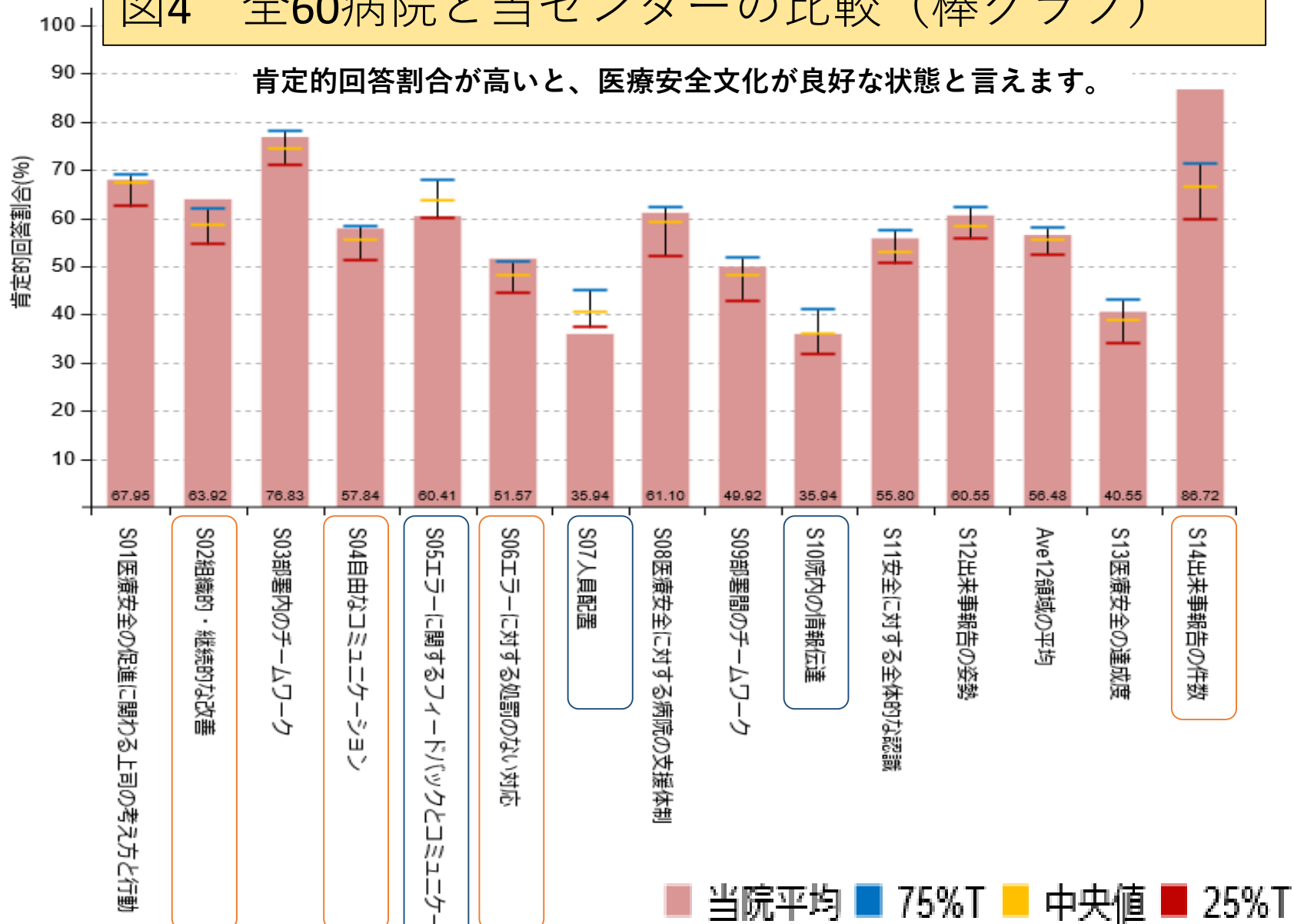




図4 全60病院と当センターの比較（棒グラフ）

肯定的回答割合が高いと、医療安全文化が良好な状態と言えます。



## 今回の結果分析と今後の課題

今年度の医療安全文化調査に参加した全60施設と比較して、ほとんどの項目が平均を上回り、医療安全文化が良好な状態であることが確認出来、出来事報告については全病院の最高値をマークし、当センターの職員の報告文化がトップということが証明されました。一方で、院内の情報伝達やエラーに関するフィードバックとコミュニケーション等に課題があることが分かりました。インシデントの内容や対策の周知など、職員の皆さんへ、よりスムーズに情報伝達されるような仕組みを検討したいと思います。そして、今回の結果を病院の課題として改善に努めたいと思います。

2022年3月 医療安全管理室